

評価グリッド法を用いた生産者のマルドリ方式に対する評価構造の解明 Clarification of evaluation structure of citrus farmer to MARUDORI System using Evaluation Grid Method

○廣瀬 裕一* 齋藤 仁蔵*

Yuichi HIROSE, Jinzo SAITO

1. 背景と研究目的 高品質なカンキツが生産できる「周年マルチ点滴灌水同時施肥法（以下マルドリ方式と表記する.）」¹⁾が開発されて10年以上経過し技術の普及が進む²⁾とともに、集団で施設を共用する「団地型マルドリ方式」も最近では利用されつつある³⁾。マルドリ方式は高品質な果樹生産に加え灌水量や施肥量も節約できるため、水資源の節減や土壌への過剰な施肥の防止にも有効とされる。よって、マルドリ方式をより一層普及することは、意義があると考えられる。マルドリ方式の利用を促進させるためには、利用者のマルドリ方式に対する評価を明らかにし、改善点の有無を明らかにすることが重要である。

本研究は、マルドリ方式に対する利用者の評価構造を明らかにすることを目的に、マルドリ方式を利用する生産者に対するインタビュー調査を行った。

2. インタビュー調査の方法 インタビュー調査では、評価グリッド法を援用した手法を用いて、マルドリ方式に対する評価構造を明らかにした。ここで評価グリッド法とは、複数のエレメント（例えば写真）を被験者にグループ分けしてもらい、そのグループ間の比較から得られる評価項目（美しい等の形容詞対）を元に、ラダーリングを行うことで評価構造を得る手法である。本研究では、評価グリッド法が評価項目を抽出するために、エレメント間の比較を行うことに注目した。本研究ではマルドリ方式の導入前後の樹園地を対象に、樹園地の環境を比較することで評価項目を抽出した（図1）。具体的には、被験者に対して『マルドリ方式を導入したことで良くなった（悪くなった）と思うことを、思いっただけ挙げてください』と質問することで評価項目を抽出し、それを用いてラダーリング法によって評価構造を明らかにした。なおラダーリング法とは、評価項目と関係がある心理的な階層構造を抽出する方法である。

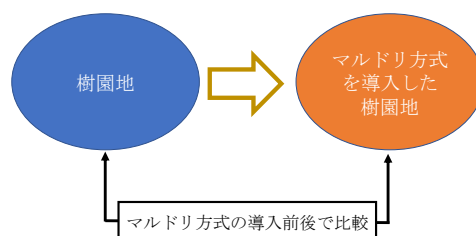


図1 評価項目の抽出方法

Extracting method of evaluation item

表1 対象地区と被験者数

Object region and quantity of examinee

地区	人数
三重県熊野市周辺	3
愛媛県今治市大三島	7
山口県周防大島町	2
合計	12

3. 結果 インタビュー調査は、マルドリ方式による樹園地整備がされた3県3地区の計12名の生産者（表1）を対象に実施した。被験者は、少なくとも1年以上マルドリ方式を用いてカンキツ類を生産した経験がある。得られた結果から、マルドリ方式に対して生産者は以下のような評価をしていることが明らかになった。

*農研機構 西日本農業研究センター（Western Region Agricultural Research Center, NARO）

キーワード：マルドリ方式、事業後の評価

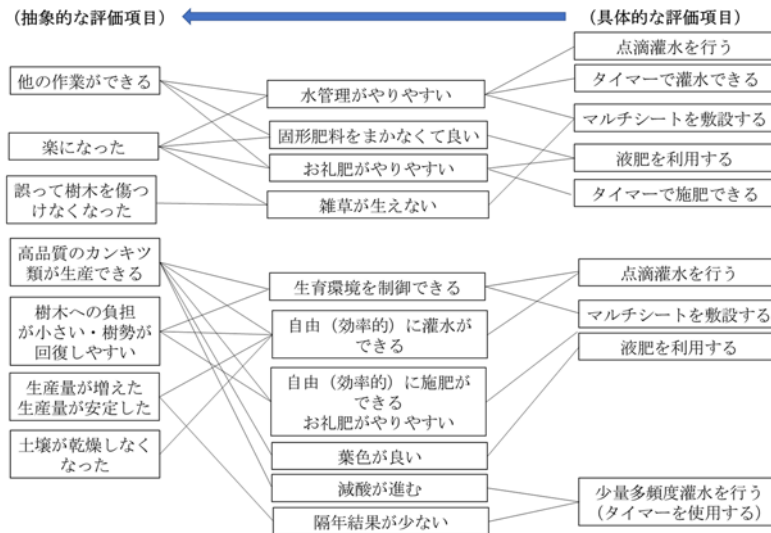


図 2 対象の生産者のマルドリ方式に対する肯定的な評価構造

Positive evaluation structure of citrus farmer to MARUDORI System

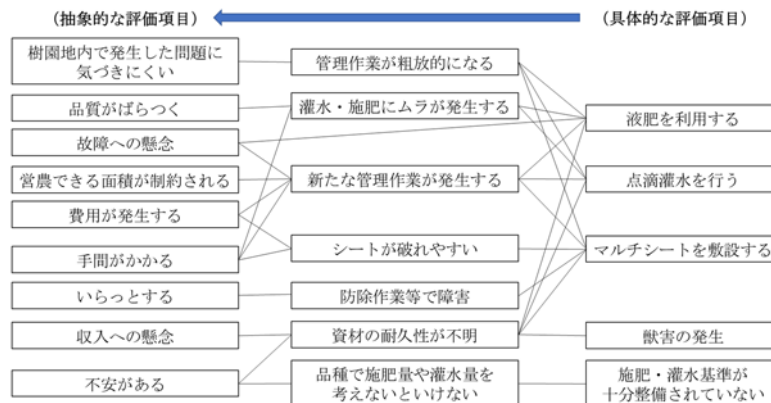


図 3 対象の生産者のマルドリ方式に対する否定的な評価構造

Negative evaluation structure of citrus farmer to MARUDORI System

肯定的な評価構造（図 2）は、主に労働負荷の緩和に関する構造とカンキツの生産品質や生産量の向上に関する構造で構成されることが明らかになった。これは、マルドリ方式が開発者の狙い通りの効果を発現していることを意味する。

否定的な評価構造（図 3）は、新たに発生する労働負荷に関する構造と散水時の時間差の発生に関する構造、発生するかもしれないトラブルへの不安に関する構造等で構成された。これらは、マルドリ方式に対する改善点が具体的に抽出されたと考えられる。

4. 結論 肯定的な評価構造からマルドリ方式の開発者が挙げた利点を生産者も心理的に評価していることが明らかになった。否定的な評価構造からマルドリ方式の改善点が挙げられた。本手法は、マルドリ方式が目的通りの評価を生産者から得ていることを明らかにできるとともに、現状のマルドリ方式に対する改善点を挙げていくことができていることから、技術導入後の評価方法としても利用可能と考えられる。

引用文献：1) 森永ら（2004）：露地栽培ウンシュウミカンにおける周年マルチ点滴かん水同時施肥法の開発,園芸学研究,3(1),45-49. 2) 森永ら（2010）：カンキツのマルチ・点滴かん水同時施肥システムの開発と普及,園芸学研究,9(2),129-135. 3) 齋藤（2017）：団地型マルドリ方式の普及状況からみる導入条件と課題,果実日本,72,50-55.